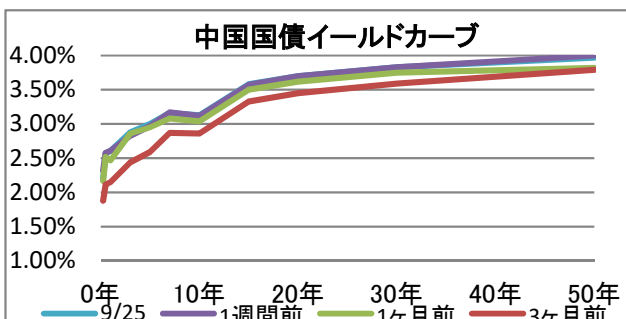
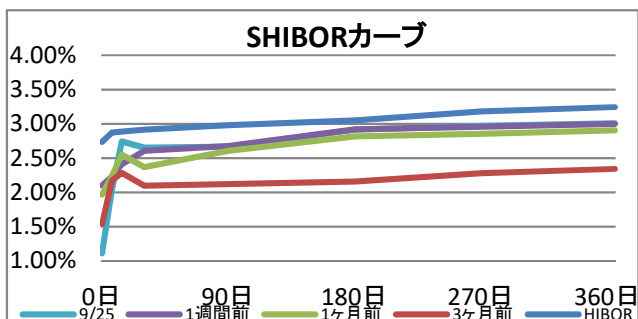


## ① 市場概況

基準レート		2020/9/25	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.8121	0.0530
	JPY/CNY	6.4588	0.0067
SHIBOR	3M	2.6680%	-0.0110%
国債利回り	10年	3.13%	+0.01%
上海総合指数		3,219.42	-54.88



### (1) 概況

欧米での新型コロナウイルス感染の再拡大やECB理事の積極金融緩和発言等に加え、経済指標からも世界的な景気回復減速が懸念される状況となり、金融市場では先行き不透明感からリスクオフ傾向が強まり、小動きながら株安、債券高、ドル高となっている。中国金融市场も、四半期末と国慶節の大型連休を控えて市場規模が縮小し、値動きも限定的となっていたことから、FTSEラッセルの世界国債インデックス (WGBI) への中国国債の組み入れ (2021年10月) が発表されたものの反応は限定的で、前週末比では株安、債券安、元安となっている。

FTSEラッセルは、WGBIへの中国国債組み入れは、市場整備状況等の確認後に日程を含めて2021年3月に最終的に決定すると説明している。組み込みが実現すると、同指数に連動する運用資金規模とWGBIへの中国国債の組み入れ比率見直しから1,000～1,500億ドル規模の資金が流入すると見込まれている。

### (2) 金融調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日4,200億元に対して新規リバースオペ9,000億元 (うち、四半期末越え5,000億元) を実施し、差し引き4,800億元を供給している。また、同行が21日に公表したLPR (1年3.85%、5年以上4.65%) は5ヶ月連続で据え置きとなっている。

### (3) 主な経済指標

工業部門利益 (8月) は、前年比+19.1% (7月、同+19.6%) と高水準を維持している。国家統計局は、生産と需要の安定した回復と費用低下によるものであり、鉱業の回復や装置製造業の利益拡大を特徴点と説明している。

## ② 資金市場

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.1130%	1.1000%	1.0800%	
1W	2.0440%	2.0000%	2.1000%	
2W	2.7430%	2.8200%	4.1000%	2.9000%
1M	2.6550%	3.6000%	4.0000%	2.9000%
3M	2.6680%	2.6800%	4.5500%	2.7000%
6M	2.9150%	3.4300%	3.3000%	2.9800%
9M	2.9730%			3.0500%
12M	3.0090%	3.5000%		3.0700%

中国人民銀行の積極的な資金供給により足下の資金需給が大幅に改善する一方、四半期末となる9月末越えの需給は依然タイトな状況が続いてターム物の金利水準の高止まりが続いている。ただし、ターム物の出合いは1ヶ月 (四半期末越え) が3.40-3.50%で取引されている以外は限定的で、取り急ぐ様子も確認されず、落ち着いた状況が続いている。

NCDも、四半期末を控えて市場規模が縮小する中で金利水準が高止まりする状況となっており、ターム物の金利水準は1ヶ月2.85%前後、3ヶ月2.70%前後、6ヶ月2.98%前後、1年3.05%前後に小幅ながら上昇している。

### (2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.01%	0.02%
1W	0.08%	0.10%
1M	0.12%	0.15%
3M	0.35%	0.39%
6M	0.65%	0.75%
12M	0.85%	0.90%

ドル資金需給の安定に変化はなく、四半期末の9月末を超える1ヶ月では0.20%のビッドも見られるものの、年末越えの3ヶ月では0.39%、6ヶ月でも0.75%にオファーが入っており、金利が上昇する様子はない。

### ③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.21%	2.35%	2.67%	2.86%	3.16%
6M	2.57%	2.66%	3.02%	3.09%	3.39%
1Y	2.61%	2.76%	3.08%	3.17%	3.47%
3Y	2.88%	3.09%	3.40%	3.69%	4.05%
5Y	3.00%	3.29%	3.68%	3.96%	4.58%
10Y	3.13%	3.63%	3.94%	4.25%	4.98%

債券市場では、四半期末を前に資金需給改善やWGBIへの中国国債組み入れが支援材料になると期待されたものの、国際経済の先行き不透明感や中国では四半期末と国慶節の連休を控えていることもあって、値動きは限定的となっている。

イールドカーブは、連休を控えて市場規模が縮小する中で利率債選好とデュレーション短期化の動きが目立ち、信用債がスティーピングに転じ、クレジットスプレッドも長期ゾーンを中心に小幅ながら拡大に転じている。

### ④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	90.0 / 95.0
1M	180.0 / 195.0
3M	445.0 / 450.0
6M	850.0 / 860.0
9M	1191.0 / 1205.0
12M	1530.0 / 1540.0

対ドル基準レートは6.8121と前週末比+530pipsのドル高元安、対円基準レートは6.4588と同+67pipsの円高元安と、世界的なドル買戻しや月末のドル決済需要に伴うドル高を映じた水準で設定されている。市場取引でも、WGBIへの中国国債組み入れ等の材料はあったものの、週初の6.75台から6.82台に戻して週末を迎えている。

先物は、人民元資金の金利水準が四半期末要因等から高止まっていることや、国外からの投資資金流入もあってスワップ幅は3年来となる水準に拡大している。

### ⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.35%		2.04%
6M	2.41%	2.87%	2.10%
9M	2.43%	2.87%	2.16%
1Y	2.46%	2.92%	2.17%
3Y	2.67%	3.23%	2.26%
5Y	2.83%	3.44%	
7Y	2.95%	3.59%	
10Y	3.09%	3.76%	

債券利回りが高止まりする状況が続き、四半期末と国慶節の連休を控えて市場取引規模も低調となっており、スワップ金利も小幅上昇に転じている。債券利回りとの金利差のスワップスプレッドに概ね変動はないものの、スワップ金利の上昇幅が債券利回りの上昇を上回ったことから、小幅ながら拡大に転じている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。